



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 天昇電気工業株式会社

コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 安藤 武彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 横山 彰

TEL 042-788-1880

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,228	△33.1	△159	—	△276	—	△259	—
23年3月期第2四半期	10,804	△0.0	373	—	5	—	△99	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △164百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △446百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△16.05	—
23年3月期第2四半期	△5.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,915	2,967	14.4
23年3月期	19,988	3,233	14.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,573百万円 23年3月期 2,879百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	△21.4	370	△56.0	160	△54.7	20	16.6	1.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	17,014,000 株	23年3月期	17,014,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,139,263 株	23年3月期	27,813 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	16,172,676 株	23年3月期2Q	16,987,917 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P4
3. 四半期連結財務諸表	P5
(1) 四半期連結貸借対照表	P5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P11
(5) セグメント情報等	P11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生によるサプライチェーンの寸断や原発事故に伴う電力不足問題など被災地域のみならず国内経済全体に影響が拡大いたしました。その後は緩やかに回復してまいりました。しかし、9月末にかけて円高が急激に進み厳しい状況となっております。

当社グループの主力製品であります薄型TV部品は本年3月末のエコポイント終了後も数量的にはさほど落込みを見せず推移いたしました。7月24日の地デジ切替後は急激に数量ダウンいたしております。自動車部品につきましても、震災及びその後の電力不足問題の影響を受け今上期は厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループは自動車部品及び照明器具部品の受注拡大、新規顧客開拓に注力しましたが、薄型TV部品の落込みをカバーできず、売上高は前年同期比35億76百万円減の72億28百万円となりました。

損益につきましては、各種経費の徹底的な削減を図りましたが売上高の減少額が大きく営業段階で、1億59百万円の損失（前年同期は3億73百万円の利益）となり、また、経常段階でも急激な円高による為替差損70百万円を計上したことなどにより、2億76百万円の損失（前年同期は5百万円の利益）となりました。特別損失に三重工場の遊休生産設備の除却損86百万円を計上した結果、四半期純損失2億59百万円（前年同期99百万円の損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

## 日本成形関連事業

売上高は60億27百万円（前年同期87億78百万円）となりました。薄型TV部品は製品単価の下落が大きく影響いたしました。自動車部品は夏以降回復基調となりましたが期初の落込みをカバーできませんでした。物流産業資材は売上が増加しております。

## 中国成形関連事業

中国では、物流産業資材を中心にローカル企業との価格競争が激化したことにより、売上高は2億29百万円（前年同期3億59百万円）となりました。

## ポーランド成形関連事業

新製品の立ち上げがずれ込んだこと等により、売上高は8億34百万円（前年同期15億62百万円）となりました。

## 不動産関連事業

売上高は1億50百万円（前年同期1億50百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、179億15百万円（前連結会計年度末比20億73百万円減）となりました。

流動資産は、現金及び預金が36億60百万円（前連結会計年度末比18億11百万円減）、受取手形及び売掛金が31億58百万円（前連結会計年度末比4億21百万円減）と前連結会計年度末に比べ大きく減少したこと等により、80億98百万円（前連結会計年度末比19億19百万円減）となりました。

固定資産は、生産設備投資及び減価償却実施などにより、98億16百万円（前連結会計年度末比1億54百万円減）となりました。

#### ②負債

負債合計は、149億48百万円（前連結会計年度末比18億7百万円減）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が36億24百万円（前連結会計年度末比16億57百万円減）、借入金35億19百万円（前連結会計年度末比2億71百万円増）等により、85億95百万円（前連結会計年度末比16億74百万円減）となりました。

固定負債は、借入金51億53百万円（前連結会計年度末比17百万円減）等により63億52百万円（前連結会計年度末比1億32百万円減）となりました。

#### ③純資産

純資産合計は、四半期純損失の計上等により、29億67百万円（前連結会計年度末比2億65百万円減）となりました。

#### ④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、減価償却費及び売上債権の減少等による収入の一方、税金等調整前四半期純損失3億81百万円、仕入債務の減少16億77百万円等の支出により、11億69百万円の支出（前年同期16百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主に自動車用金型の投資により3億64百万円の支出（前年同期1億80百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、金融機関から長期借入18億円のうち、返済が17億40百万円、リース債務の返済、社債の償還等の支出により3億15百万円の支出（前年同期1億68百万円の収入）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、36億50百万円となりました。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年6月17日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、この変更による影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社グループの連結子会社である天昇ポーランドコーポレーション及び持分法適用関連会社である天昇アメリカコーポレーションの機械及び装置は、従来、耐用年数5年として減価償却を行っていましたが、当初予定による残存耐用年数と現在以降の経済的使用可能予測期間との乖離が明らかになったことにより、当第1四半期連結会計期間より耐用年数を8年に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が47百万円減少し、営業損失は47百万円減少、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は64百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,472	3,660
受取手形及び売掛金	3,580	3,158
製品	251	253
原材料	424	530
仕掛品	91	114
その他	198	383
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	10,018	8,098
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,174	4,093
土地	2,390	2,396
その他（純額）	2,267	2,241
有形固定資産合計	8,831	8,730
無形固定資産	35	29
投資その他の資産		
その他	1,133	1,085
貸倒引当金	△29	△28
投資その他の資産合計	1,104	1,056
固定資産合計	9,970	9,816
資産合計	19,988	17,915
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,282	3,624
短期借入金	800	900
1年内返済予定の長期借入金	2,447	2,619
未払法人税等	282	18
賞与引当金	5	263
その他	1,452	1,170
流動負債合計	10,270	8,595
固定負債		
社債	25	—
長期借入金	5,171	5,153
資産除去債務	41	41
その他	1,247	1,157
固定負債合計	6,485	6,352
負債合計	16,755	14,948

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	1,210	950
自己株式	△6	△116
株主資本合計	3,310	2,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	△11
為替換算調整勘定	△439	△356
その他の包括利益累計額合計	△431	△367
新株予約権	—	9
少数株主持分	354	385
純資産合計	3,233	2,967
負債純資産合計	19,988	17,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,804	7,228
売上原価	9,323	6,321
売上総利益	1,481	906
販売費及び一般管理費	1,108	1,066
営業利益又は営業損失(△)	373	△159
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	7	11
助成金収入	7	26
その他	45	48
営業外収益合計	65	92
営業外費用		
支払利息	136	109
為替差損	167	70
持分法による投資損失	80	16
その他	48	13
営業外費用合計	432	209
経常利益又は経常損失(△)	5	△276
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2
貸倒引当金戻入額	7	—
特別利益合計	7	2
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28	—
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	4	86
投資有価証券売却損	—	3
貸倒損失	7	—
災害損失	—	16
特別損失合計	41	106
税金等調整前四半期純損失(△)	△28	△381
法人税等	88	△106
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△117	△274
少数株主損失(△)	△18	△14
四半期純損失(△)	△99	△259

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△117	△274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△19
為替換算調整勘定	△269	132
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△3
その他の包括利益合計	△329	109
四半期包括利益	△446	△164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△333	△196
少数株主に係る四半期包括利益	△113	31

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△28	△381
減価償却費	654	506
株式報酬費用	—	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	126	257
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△0
受取利息及び受取配当金	△13	△17
支払利息	136	109
為替差損益(△は益)	133	47
持分法による投資損益(△は益)	80	16
有形固定資産売却損益(△は益)	1	—
有形固定資産除却損	4	86
投資有価証券売却損益(△は益)	—	1
災害損失	—	16
売上債権の増減額(△は増加)	△848	387
たな卸資産の増減額(△は増加)	138	△120
仕入債務の増減額(△は減少)	△365	△1,677
未収入金の増減額(△は増加)	4	△1
未収消費税等の増減額(△は増加)	0	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	—	△35
その他	149	29
<b>小計</b>	<b>190</b>	<b>△767</b>
利息及び配当金の受取額	13	17
利息の支払額	△159	△127
法人税等の支払額	△29	△276
その他	—	△15
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>16</b>	<b>△1,169</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△181	△373
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△20	△27
投資有価証券の売却による収入	13	24
投資有価証券の償還による収入	8	7
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△1	4
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△180</b>	<b>△364</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	100
長期借入れによる収入	1,300	1,800
長期借入金の返済による支出	△1,134	△1,740
社債の償還による支出	△175	△175
リース債務の返済による支出	△177	△190
自己株式の取得による支出	△0	△110
配当金の支払額	△0	△0
少数株主からの払込みによる収入	355	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	168	△315
現金及び現金同等物に係る換算差額	△291	38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△287	△1,811
現金及び現金同等物の期首残高	5,159	5,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,871	3,650

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	ポーランド 成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	8,744	356	1,553	150	10,804	—	10,804
セグメント間の内部売上高又は振替高	33	3	9	—	45	△45	—
計	8,778	359	1,562	150	10,850	△45	10,804
セグメント利益又は損失(△)	153	△40	149	110	373	—	373

(注) 1 セグメントの調整額は、セグメント間取引消去45百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	ポーランド 成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	6,015	228	833	150	7,228	—	7,228
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	1	0	—	13	△13	—
計	6,027	229	834	150	7,241	△13	7,228
セグメント利益又は損失(△)	△209	△43	△19	111	△159	—	△159

(注) セグメントの調整額は、セグメント間取引消去13百万円であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。